

# 廉価な地方道路維持管理 System

by IRI & Image

## ① IRI による現況調査

道路パトロール・維持作業車の後輪に「IRI プロファイラ」を装備して調査区間を通常走行して一筆データの収集を行う。

▼  
野帳と共に調査データを解析部門へ



パトロールカー等によるプロフィール及び画像の収集。専用車は不要

簡単で便利な調査

調査票

IRIによる維持管理サイクル

プロフィール・画像

## ② 調査の高速解析

1. 10 区毎の IRI 値を画像に貼り付ける
2. IRI 値と画像を MAP に貼り付ける
3. 損傷の悪い箇所付けをする
4. 補修候補箇所付けをする

調査結果を貼付

予算・工事量

管理水準・保全率

アウトカム



自治体

管理目標

管理水準・保全率

アウトカム(利用者評価)

道路維持管理システム

作業タスク 調査&補修工事  
補修候補

③管理マップ

管理マップ

公開確認

公開マップ

現況と工事予定

現況・補修場所・時期



- 補修
- 可
- 良好

維持管理アーキテクチャー

## 住民＝利用者の役割

- ★税金が無駄なく使われているか?
- ★地域発展のベースとなっているか?
- ★地域全体として平等であるか?

- ①道路特定財源が一般会計に歳入されて公明性が高まり、関心が高まる。
- ②道路利用は「乗り心地」を経験体得しているので補修の評価が容易となる。

体得乗り心地で評価

乗り心地による住民監視システム

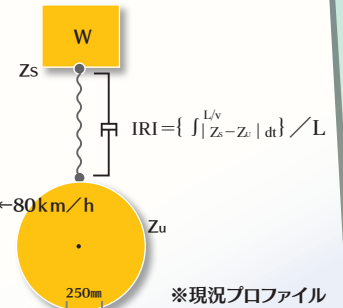
IRIであれば共通の理解が出来る

利用者の体感乗り心地

シミュレーション技術

## 活用技術は(乗り心地)

2000年 世界道路協会採用  
2007年 日本道路協会採用



IRI技術 (乗り心地指標)

※現況プロフィール  
PCIによるバーチャルシミュレーション (QCモデル)